

2023年10月10日
イオン北海道株式会社

**子育て支援や教育環境、動物園の充実に活用されます
「とがち帯広WAON」の寄付金を贈呈いたします**

イオン北海道株式会社は、10月13日（金）に、「とがち帯広WAON」のご利用金額の一部を寄付金として帯広市に贈呈します。

帯広市とイオン株式会社は、双方が持つ資源を有効に活用し、市民が心豊かに暮らし、夢や希望があふれるみらいのまちづくりに協働で取り組むことを目的に、2017年10月に「協働のまちづくりに関する包括連携協定」を締結し、その取り組みの一環として電子マネー「とがち帯広WAON」を発行しました。このWAONカードは、イオングループの各店舗やWAON加盟店でご利用いただくことにより、そのご利用金額の一部を帯広市に寄付し、子育て支援や教育環境、動物園の充実に役立てられています。

「とがち帯広WAON」の2022年度の寄付金総額は276万7,350円となり、こども未来基金やこども学校応援地域基金、おびひろ動物園ゆめ基金に積み立てられ、各事業の推進に活用されます。

当社は、今後もお客さまに便利にご利用いただけるWAONを通じて、帯広市との連携を深め、一層の地域活性化および市民サービスの向上に努めてまいります。

【「とがち帯広WAON」寄付に伴う感謝状贈呈式について】

日 時： 2023年10月13日（金） 13：45～14：00
場 所： 帯広市役所4階 市長室
出席者： 帯広市 市長 米沢 則寿 様
イオン北海道株式会社 取締役執行役員営業本部長 野尻 高志
贈呈先： 帯広市
贈呈金額対象期間： 2022年3月1日～2023年2月28日
贈呈金額： 276万7,350円

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 環境・社会貢献・広報・IR部 電話：011-865-9111

◇SDGsの取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。

この取り組みはSDGsの目標4、11、17の達成に貢献します。イオン北海道は今後もSDGsの取り組みを推進してまいります。



■「とちかち帯広WAON」について

発行開始：2017年10月13日

発行手数料：300円（税込）

※iOS版「WAON」アプリでも発行が可能です。

その際、発行手数料は無料になります。

累計寄付総額：863万6,303円

発行枚数：4万6,051枚（2023年2月末時点）

寄付活用について：「とちかち帯広WAON」の寄付金は、こども未来基金やこども学校応援地域基金、おびひろ動物園ゆめ基金に積み立てられ、帯広市子育てガイドブックの作成や子どもの学びと育ちを支える様々な団体の支援、おびひろ動物園施設整備などに活用されます。



■活用先の一例

1. こども未来基金 協定項目：未来を担う人材の育成に関すること

帯広市では、小学校や義務教育学校の放課後や休日に、学校の体育館などを活用し、地域のボランティアやNPO法人の運営により、様々な体験活動や、異学年の友達、地域の人との交流を通して、子どもたちが安心・安全に過ごし、豊かな人間性や社会性を育む機会を提供する取り組みを行っています。



【和太鼓まとい体験】

2. こども学校応援地域基金について 協定項目：未来を担う人材の育成に関すること

帯広市では、地域総ぐるみで子どもの学びと育ちを支える仕組みづくりを目指し、様々なボランティア団体や地域団体が連携して行う子どものための活動を支援するとともに、研修会や広報活動によりボランティア人材の養成や裾野の拡大を図っています。



【校内環境整備活動】

3. おびひろ動物園ゆめ基金 協定項目：文化・芸術・スポーツ振興に関すること

おびひろ動物園では、2022年6月にキリンの仔が生まれ、今後の適切な頭数管理や個体同士の闘争による事故を防ぐことなどを目的として、現在の外放飼場柵内を仕切る柵を設置しました。また、新築中の「馬ふれあい舎」が10月末に完成し、冬期開園日から公開されます。



【外放飼場の柵】



【馬ふれあい舎の完成イメージ】

■イオンの電子マネー「WAON」の使用箇所について

使用可能箇所：道内で1万8,800箇所（2023年7月末時点）

※自動販売機・タクシー・ドライバー端末を除く

使用箇所一例：イオン系列スーパーや、「セイコーマート」「ローソン」「ファミリーマート」、「ツルハ」「サツドラ」「サンドラッグ」、「しまむら」「マクドナルド」、「帯広市役所（戸籍住民課・市民税課税証明窓口）」、「六花亭※」「柳月※」「クランベリー」「十勝トテッポ工房」、「とちむら産直市場」、「北斗病院」「帯広中央病院」、「十勝バス 大空団地線（国道経由、競馬場経由）、自衛隊稲田線、畜大線）」

※一部店舗を除きます。

■帯広市との取り組みについて

○「フードバレーとがち」への参加

「フードバレーとがち」は、十勝の19市町村が連携して進める「食と農林漁業」を柱とした地域産業政策です。当社はこの政策に賛同し、2022年より「フードバレーとがち」認証商品の開発・販売を行っており、音更町農業協同組合で栽培された規格外の「長いも」を加工した「カット長いも」や「十勝産の味付けとろろ※」などを、十勝管内の「イオン」「マックスバリュ」8店舗において販売するなど地場商品の消費を推進しております。

当社では今後も十勝の食材を生かした商品開発を継続してまいります。

※「十勝産の味付けとろろ」は十勝管内以外の「イオン」「マックスバリュ」でも販売しております。



○イオンレイクタウン・十勝・帯広観光ブースの設置

9月20日（水）～25日（月）、埼玉県越谷市にある商業集積「イオンレイクタウン」で開催された北海道フェアにて、十勝・帯広観光ブースが設置され、帯広市役所の皆さまによる観光PRなどが実施されました。



【イオンレイクタウンの十勝・帯広ブースの様子】

○マイナポイント申し込み出張窓口

8月19日（土）と20日（日）、イオン帯広店にマイナポイント申し込みの出張窓口が設置されました。



○フードバレーとかちマラソン受付

9月9日（土）と10日（日）の2日間イオン帯広店にフードバレーとかちマラソンの受付が約4年ぶりに設置されました。

